



令和2年1月31日

第11号

支笏湖小学校

校長 小川 亮男

令和元年度 学校重点教育目標

『実践力（できる）へとつながる学校教育活動の推進』

## 市内で唯一のスケートリンク その思い

校長 小川 亮男

スケートリンクの造成ができないまま新年を迎え、いつ中止の判断をしようか考えあぐねていたときの降雪。それからの一週間、地域・保護者の皆様方の動きにももの凄いなものがありました。夜中までの水まき、朝方の水まきを含め一日一日氷が厚くなり、昼間の日差しと戦いながらリンクを造り上げていただきました。子どもたちのために、「なんとしてでも造るぞ」という地域・保護者の皆様方の熱い思いをひしひしと感じました。こうした大人の思いをその時々の子どもたちが受け継ぎ、一年一年積み重ね、70年間経った支笏湖小の今があることを痛感させられたスケートリンク造成でした。昔から小規模校という事実がある中、「通常規模の小学校に負けない教育を」という願いが今も脈々と流れていると思い知らされました。その結果、ご案内の通り、千歳市内唯一のスケート学習ができる小学校となり、快晴の中、暖かい気温にも恵まれ、多くの方々に参加いただきながら活気あるスケート大会を開催することができました。皆様方のご協力に改めて感謝申し上げます。

さらに、今年は奈路小を迎える年にあたり、皆様方のご協力の下、奈路小の児童、地域・保護者の皆様方を温かく迎えることができました。氷濤祭りや冬の花火、雪の上でのアクティビティ、住民交流会、学校交流集会と様々な企画が進行する中、学校間と地域間の交流を深めることができました。ご支援いただいた地域・団体・保護者のみなさまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

冬休みが終了し第4節が始まって2週間が過ぎました。上記の通り、「え？まだ2週間？」と思えるとても密度の濃い2週間でした。1月が終わり、2月に突入しようとしている中、残すところ登校する日数は30日あまり。残す行事もスキー学習や卒業に係わる行事など、あと少しとなってしまいました。後期後半は各学年とも締めくくりの時期であると同時に、次の学年への準備の時期でもあります。残された日数の中で、子どもたちは学年や個人に応じたまとめを行うこととなります。

特に6年生はあとわずかです。4月からはよいよ中学生。締めくくりを大切に、中学校での生活につなげていくこととなります。4年生は6年生のあとをしっかり受けて、支笏湖小のリーダーになっていかなければなりません。その準備をする上でも大切な時期です。3年生も、中学年としての自覚を高めながら、低学年のお手本にならなければなりません。支笏湖小の良い伝統を引き継ぎながら頑張ってもらいたいと思います。2年生も1学年進級します。来年度は待ちに待った1年生が入りお兄さん・お姉さんになります。更にステップアップしなければなりません。きまりを守り、みんなで協力しながら、新しい学年に進むための準備をしてほしいと思います。子どもの着実な成長は、何気ない日常の努力の積み重ねによって成し遂げられるものです。私たち教職員一同も、子どもたちの願いや変化を真摯に受け止めながら、しっかりと子どもたちと向き合っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

■学校のホームページが千歳市内統一のシステムとなりようやく新しくなりました。これまでホームページの更新ができず、ブログに頼って参りましたが、2月から新しいホームページに移行いたします。まだ、記事のアップがなされていない状況ではありますが、少しずつ増やして参りますので、ブログともども見ていただくとありがたいと思います。

《新しいホームページアドレス》 <https://chitose-edu.jp/shikotsuko-e/>